

事務事業名		健康づくり推進体制整備事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業	
政策体系	政策名	02 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間	
	施策名	09 生涯にわたる健康づくりの推進			
	基本事業名	01 健康づくり活動の推進		単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和54 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令				予算科目 会計 款 項 目 事業 01 04 01 01 11	
所属	部課名	生活福祉部健康推進課		事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)	
	課長名	近江信敏			
	係名	庶務係	電話 0192-27-1581		
	担当者	村上和枝	内線 -		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
・健康づくりについての保健活動の推進に関する事項等を協議するため、健康づくり推進協議会(委員15人)設置要綱に基づき健康づくり推進協議会を開催する。(2年任期) ・市委嘱の健康づくり推進員の打合せ会議及び研修会を開催する。 ・主な業務は、委嘱委員の選定、会議の設営、保健活動に関する議題の設定など。 ・医師等との打合せ会を開催する。 ・報酬は、委嘱委員及び打合せ会に出席した医師及び歯科医師に支出する。 ・健康増進法に基づく「健康増進計画」として、平成27年3月に「健康おおふなと21プラン(第2次)」を策定した。				総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称 単位	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		ア 健康づくり推進協議会開催回数 回	
・健康づくり推進協議会 1回 ・健康づくり推進員打合せ会議及び研修会 2回 ・小児保健事業打合せ会 1回、歯科保健事業打合せ会 1回		イ 健康づくり推進員会議・研修会開催回数 回	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		ウ 医師打合せ会議開催回数 回	
・健康づくり推進協議会 2回 ・健康づくり推進員打合せ会議及び研修会 2回 ・小児保健事業打合せ会 1回、歯科保健事業打合せ会 1回			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・健康づくり推進協議会委員 ・健康づくり推進員 ・医師及び歯科医師		名称 単位	
		カ 健康づくり推進協議会委員委嘱委員数 人	
		キ 健康づくり推進員数 人	
		ク 打合せ参加医師、歯科医師数 人	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・健康づくり推進協議会で保健活動の推進について意見を述べる。 ・健康づくりに関心を持ち、行政と地域の橋渡しをする。 ・保健活動の推進のため、医師及び歯科医師として助言及び指導をする。		名称 単位	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		サ 地域における健康相談参加者数 人	
・市民の健康づくりの推進を図る。		シ	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(目標)	2年度(目標)	
		単位							
70	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
	一般財源	千円	1,556	1,521	1,517	1,493	1,698	1,698	
	事業費計(A)	千円	1,556	1,521	1,517	1,493	1,698	1,698	
	人件費	正規職員従事人数	人	7	5	4	5	5	5
	延べ業務時間	時間	705	695	630	840	700	700	
	人件費計(B)	千円	2,820	2,780	2,520	3,360	2,800	2,800	
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,376	4,301	4,037	4,853	4,498	4,498		
⑤活動指標	ア	回	1	1	1	1	2	1	
	イ	回	2	2	2	2	2	2	
	ウ	回	1	2	2	2	2	2	
⑥対象指標	カ	人	15	15	15	15	15	15	
	キ	人	132	129	129	128	131	131	
	ク	人	13	18	19	18	22	22	
⑦成果指標	サ	人	1129	1112	1228	1223	1200	1200	
	シ								
	ス								

事務事業ID	0277	事務事業名	健康づくり推進体制整備事業
--------	------	-------	---------------

**(3) 事務事業の環境変化・住民意見等**

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
 ・国からの通知により、積極的、体系的な健康づくり推進のために健康づくり推進協議会及び健康づくり推進員を設置。(昭和53年11月1日告示)

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？  
 ・健康づくり推進協議会委員は設置当初は10人、現在は設置要綱の15人で構成している。(平成13年11月15日合併後、平成14年度から15人)  
 ・健康づくり推進員の委員数は設置当初は107人、合併後141人となっている。(原則行政区単位で1名)震災による行政区の減や選任中の行政区もあり、平成30年度健康づくり推進員は128人である。  
 ・保健活動において、日中地域にいるのは高齢者が大部分を占め、参加者の減少、固定化、高齢化が進んでいる。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
 ・平成23年度は、震災の影響により健康づくり推進協議会及び歯科保健事業打合せ会は、開催しなかった。また、健康づくり推進員も委嘱できなかつたため、打合せ会議及び研修会を実施しなかった。平成24年度以降は震災前と同様に実施している。  
 ・医師、歯科医師との打合せ会は、医師、歯科医師側から毎年開催してほしい旨要望されている。 ・地域での活動は住民から感謝されている。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 市民が健康づくりについて知る機会となっている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 平成20年度からの特定健康診査・特定保健指導の実施義務化に伴い、健康づくり推進員の果たす役割が重要である。また、震災後、各地域住民の健康面の情報を市へ提供してもらった役割としても期待される。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 健康づくり推進員の活動内容や回数にばらつきが見られるため、活動内容を見直した。また、平成21年度は報酬等の見直しをした。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 地域住民の健康づくりのため、健康づくり推進員の委嘱以外に地域での活動が活発に展開できる組織が必要である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 健康づくり事業を実施する上で、医師等との意見交換の場は不可欠であり、また、各界の多方面からの意見は貴重なものであり、協議会や打合せ会を廃止することは円滑な事業推進の妨げになる恐れがある。健康づくり推進員については、活動内容等地域によってはばらつきがあるなど課題が多いため、代わるものを見出すために模索しつつ、今ある健康づくり推進員を役割について見直しをしながら、充実を図っていく必要がある。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 健康づくり推進員の報酬は、平成21年度減額した。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 医師会の専門医との打合せ会は、夜間に開催せざるを得ない。業務内容が臨時職員や委託に適さない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 健康づくり推進員の報酬は見直しをした。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 健康づくり推進員の協力回数にばらつきがあり、地域での保健活動にもばらつきが見られる。健康づくり推進員以外に地域で保健活動を活発に展開する組織がないか検討し、活動等について見直す。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		

**4 課長等意見**

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	市民の健康保持のため、有効な事業を検討していく必要がある。